

## 8/7 紙祭りでの「平成30年7月豪雨被害」に対する募金活動のご報告およびご協力へのお礼

平成30年7月の豪雨災害により、8月1日時点で、愛媛をはじめ、広島、岡山など14府県で220の方がなくなり、安否不明者は9人に上っています。豪雨災害でお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆さまにお悔やみを申し上げます。また、被災された皆さまに謹んでお見舞いを申し上げます。

私たち愛媛大学紙産業コースでは、毎年7月末に開催されます地場産業である「紙」をテーマにした「紙まつり」におきまして、自分たちで企画立案したイベント（紙クイズ、水風船、飲料販売など）を行っております。今年は、上記のように豪雨により、本当に多くの地域で被害が発生したことをふまえ、自分たちでも何かできることはないかと考えました。その結果、紙まつりの中で販売する飲料の売り上げの一部と、募金箱を設置してお寄せいただきましたお金を義援金として寄付することにいたしました。

義援金総額：15,010円

このたび、皆さまからお預かりした義援金は、四国中央市役所から日本赤十字社を通して、被災地へ寄付させていただきます。

皆さまの温かいご支援、ご協力に感謝申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



学生代表から担当部長へ渡す様子（四国中央市役所にて）

（左から、大西生活福祉課長、加地福祉部長、修士2年酒井、修士1年張、学部3年三好、学部3年石川）

崇徳大学  
新産業11パビリオンセンター様

# 預り書

¥ 15,010 . -

ただし、平成30年7月豪雨災害義援金として

上記正にお預かりしました。被災された方々にお届けいたします。

平成30年8月3日

日赤四国中央市地区長 篠原 実

